

東日本復興支援事業報告（平成 24 年度）

－宮城県南三陸町における仮設エリアを中心とした食生活力形成を支援－

米穀機構では、被災地の早期復興を食生活の面から支援するため、NPO 法人食生態学実践フォーラム及び南三陸町等と連携し、南三陸町の仮設エリアを中心に、1食のバランスのとれた食事内容と適量をセルフチェックできる「3（主食のごはん）・1（主菜）・2（副菜）弁当箱法」を活用して、町民ひとり一人が自分にとって、望ましい食事・食生活を営む力（食生活力）を持ち、新しい生活や社会活動ができるようにすること、そして、地域の食生活指導者等的人資源の活用により、地域としての自助努力・互助努力を促す支援にもつなげていくことを念頭に、以下のとおり事業を実施しました。

将来的にも、できるだけ多くの仮設住宅入居者が食生活力形成のための学習の場を得ることが出来るように、次の4事業を実施した。

1 共食会ワークブック「からだ・心・くらし・環境にぴったり合った食事づくり」の制作

（研修会や共食会で活用）

2 食生態プロモーターズ（「共食会」の講師）養成研修会の実施

（対象者は町・保健センター管理栄養士とNPO法人ハッピート大崎の管理栄養士等
講師はNPO法人食生態学実践フォーラム理事）

	実施月日	実施場所	人数
1	平成 24 年 5 月 22 日	南三陸町志津川保健センター	11 名
2	7 月 20 日	南三陸町志津川保健センター	9 名
3	7 月 31 日	南三陸町志津川保健センター	4 名
4	平成 25 年 1 月 17 日	南三陸町志津川保健センター	8 名



3 共食サポーター（「共食会」において講師を補佐）養成研修会の実施

（対象者は町のヘルスマイト（食生活改善推進員）等食支援で活動してきた人
講師は上記2で養成した食生態プロモーターズ）

	実施月日	実施場所	人数
1	平成 24 年 7 月 20 日	南三陸町志津川保健センター	21 名
2	9 月 5 日	南三陸町志津川保健センター	19 名
3	平成 25 年 2 月 26 日	南三陸町志津川保健センター	17 名



4 「3・1・2弁当箱法」をベースに「からだ・心・くらし・環境にぴったり合った食事づくり」を共に学び、共に味わい食生活力形成を進める共食会（「共食会」）の実施

（対象者は仮設住宅入居者

講師は上記2で養成した食生態プロモーターズ。上記3で養成した共食サポーターが補佐）

	開催月日	開催場所	参加人数
1	平成 24 年 10 月 5 日	岩沢仮設住宅談話室	8 名
	10 月 18 日	岩沢仮設住宅談話室	7 名
2	10 月 12 日	葦の浜農村公園仮設住宅談話室	14 名
	10 月 29 日	葦の浜農村公園仮設住宅談話室	12 名

3	10月15日	拵沢仮設住宅談話室	9名
	11月1日	拵沢仮設住宅談話室	9名
	平成25年2月22日	拵沢仮設住宅談話室	5名
4	平成24年10月16日	吉野沢仮設住宅談話室	11名
5	10月25日	荒砥I期仮設住宅談話室	17名
	11月8日	荒砥I期仮設住宅談話室	14名
	平成25年3月26日		
6	10月30日	志津川高校仮設住宅談話室	12名
	11月20日	志津川高校仮設住宅談話室	11名
7	11月6日	小森仮設住宅談話室	16名
	11月22日	小森仮設住宅談話室	14名
8	11月13日	自然の家仮設住宅談話室	8名
	12月4日	自然の家仮設住宅談話室	8名
9	11月19日	戸倉中学校仮設住宅談話室	17名
	12月6日	戸倉中学校仮設住宅談話室	12名
	平成25年3月12日		
10	11月29日	入谷小学校仮設住宅談話室	9名
	12月14日	入谷小学校仮設住宅談話室	8名

延べ221名

